# 基礎看護学Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 責任者・コーディネーター | 共通基盤看護学講座　三浦　まゆみ　教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 共通基盤看護学講座、附属病院看護部 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 | 講義　6 時間<br>演習　16.5 時間 |
| 期　　間 | 後期 | | |
| 単　位　数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

基礎看護学Ⅰの学修を基に、健康的な日常生活を促進する基礎的な援助技術について学ぶ。具体的には、全身清拭・足浴・洗髪のような清潔を保つ援助、食事介助・口腔ケア・経管栄養のような食事行動への援助、床上排尿・導尿、床上排便・浣腸のような排泄の援助、罨法を用いて安楽を促す援助などのそれぞれの技術を習得する。

・教育成果（アウトカム）

実施する看護技術(食事、排泄、清潔)の原理・原則を理解し、手順どおりに行うことに集中するのではなく、相手に不快な思いや苦痛を与えないような方法を自分で獲得していくプロセスを大事にする。授業内容の理解、デモンストレーションの見学、演習と積極的な自己学習を通してその方法を身につけることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】
ディプロマ・ポリシー：1，2，3，4

・到達目標（SBO）

1. 日常生活援助の基本技術(食事、排泄、清潔)を理解し実施できる。
2. 安楽を援助する基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。
3. 上記を実施する際に単なる手技ではなく、患者の気持ちに寄り添えるよう気遣いながら、自尊心を保てるような援助をするための工夫をすることができる。

・授業日程

（矢）東 2-A 講義室、（矢）マルチ 2-A 実習室、（矢）マルチ 2-B 実習室

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9/25 | 月 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 柏木　ゆきえ　講師 | 清潔の援助技術<br><br>・清潔の意義を説明することができる。<br>・皮膚・粘膜の機能を説明することができる。<br>・清潔のニーズおよび援助方法のアセスメントを列挙することができる。 |
| 10/16 | 月 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 柏木　ゆきえ　講師 | 食生活と栄養摂取の援助技術<br><br>・食事・栄養の意義を説明することができる。<br>・消化・吸収の生理的メカニズムを説明することができる。<br>・経口摂取への援助の留意点をあげることができる。 |
| 11/6 | 月 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 柏木　ゆきえ　講師 | 排泄の援助技術<br><br>・排尿･排便の意義を説明することができる。<br>・排尿･排便のメカニズムを説明することができる。<br>・排泄行動への援助の留意点をあげることができる。 |
| 11/20 | 月 | 3 | 共通基盤看護学講座 | 柏木　ゆきえ　講師 | 罨法<br><br>・罨法の意義について説明することができる。<br>・罨法の適用と効果について説明することができる。 |

【演習】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9/25 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 清潔の援助技術①（清拭）<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら清拭の援助ができる。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 9/25 | 月 | 5 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 清潔の援助技術②（手浴・足浴）<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら手浴と足浴の援助ができる。 |
| 10/16 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 清潔の援助技術③（洗髪）<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら洗髪の援助ができる。 |
| 10/16 | 月 | 5 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 食生活と栄養摂取の援助技術①　（非経口的栄養摂取の援助技術）<br><br>・経口摂取以外の栄養摂取法について述べることができる。<br>・経管栄養を必要とする対象者への実際の援助方法および留意点を列挙することができる。 |
| 10/23 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 食生活と栄養摂取の援助技術②　（食事介助、口腔ケア）<br><br>・自ら食事摂取できない対象者への食事介助および口腔ケアの援助ができる。 |
| 10/30 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 排泄の援助技術①（自然排便・排尿の援助）<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら排泄の介助ができる。 |
| 11/6 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 排泄の援助技術②（陰部洗浄）<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら陰部洗浄の援助ができる。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 11/13 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 排泄の援助技術③（浣腸）<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら浣腸の援助ができる。 |
| 11/20 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 罨法の援助の実際<br><br>・根拠に基づいて、対象者の様子を確認しながら温罨法･冷罨法の援助ができる。 |
| 11/27 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 技術到達の確認①<br><br>・これまで学んできた看護技術の中で指定した看護技術を原則に基づき、確実に実施することができる。 |
| 12/4 | 月 | 4 | 共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>共通基盤看護学講座<br>附属病院看護部 | 三浦　まゆみ　教授<br>柏木　ゆきえ　講師<br>小松　恵　特任講師<br>小林　由美子　助教<br>野里　同　助教<br>小坂　未来　助教<br>佐藤 奈美枝 看護師長 | 技術到達の確認②<br><br>・これまで学んできた看護技術の中で指定した看護技術を原則に基づき、確実に実施することができる。 |

・教科書・参考書等
教：教科書　　参：参考書　　推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|---|---|---|---|
| 教 | 基礎看護技術Ⅱ 第 3 版 | 深井喜代子編集 | メヂカルフレンド社 | 2014 |
| 参 | 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 | 任和子 秋山智弥編集 | 医学書院 | 2014 |

・成績評価方法

| |
|---|
| 定期試験 80%、演習への取り組み 20%の合計 100%により評価する。 |

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】
シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、教科書で予習した上で授業に臨むこと。本科目での指定テキストだけでなく解剖学など広く授業内容に関連したテキストの章を事前に読んで参加すること。演習開始前には、学修内容に関する関連するテキストの章および配布資料をよく読み、事前学修課題の実施や DVD などにてイメージトレーニングを行い、学修のポイントを理解した上で参加すること。各授業について、最低 30 分の事前学修を要します。
看護技術の習得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後は積極的に自己学修を行い、知識と理解の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
演習の評価は評価表に基づき評価し、後日学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師（別表 3）：専門分野Ⅰ　基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|---|---|---|---|
| 講義 | プロジェクター（VPL-FHZ55） | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ（P-100） | 1 | 講義用資料投影 |
| 演習 | プロジェクター（EB-536WT） | 1 | 演習指導用動画投影 |
| 演習 | 書画カメラ（P30HD） | 1 | 演習指導用資料投影 |
| 演習 | HD デジタルビデオカメラ（XA35） | 1 | 手技撮影・投影用 |
| 演習 | 万能型看護実習モデル | 10 | 清拭・陰部洗浄・寝衣交換 |
| 演習 | 洗髪車 | 2 | 洗髪 |
| 演習 | 清拭車 | 1 | 清拭 |